

令和8年4月からの 市内保育所(園)の入所案内

問合せ こども支援課 ☎ (42) 8454

入所
対象

令和8年4月2日時点で生後6か月～小学校就学前までの乳幼児で、保護者が就労していることなどの理由により、家庭で保育を受けることができない乳幼児。

①申込書の配布

10月1日(水)からこども支援課、または市内の各保育所(園)で配布します。
市ホームページでも取得できます。

HP



詳細はこちら!

②保育所(園)の見学

入所を希望する保育所(園)を見学してください。
(見学期間は10月1日(水)から11月28日(金)まで)

※見学には保育所(園)への予約が必要です。

また、簡単な面談を実施しますので、入所を希望するお子さんもお連れください。

③申込書の受付

【申込期間】

一次申込み

12月1日(月)～6日(土)
※6日はこども支援課の窓口を開庁し、申込書受付のみ行います。

二次申込み

令和8年1月26日(月)～30日(金)
※一次申込みの利用調整の結果、定員に空きがある場合にのみ行います。

【受付場所】

こども支援課窓口(ウェルス幸手)

◆事前申込制度◆

第一～第三保育所のみ、子どもが満1歳時点で職場復帰できるよう誕生月に保育所に入所できる事前申込制度が利用できます。

詳細はこども支援課にご相談ください。

施設区分	名称	所在	電話番号
幼保連携型認定こども園	幸手白百合幼稚園	中2-7-32	☎ (42) 0422
認可保育所	第一保育所	幸手2265	☎ (42) 2220
	第二保育所	吉野450-9	☎ (42) 2555
	第三保育所	円藤内113	☎ (43) 4731
	てんじん保育園	天神島270-1	☎ (42) 2412
	エール保育園	上吉羽778-1	☎ (38) 9045
	幸手きららの杜保育園	松石495-3	☎ (48) 5230
	トット保育園	天神島254-1	☎ (53) 6287

令和8年度放課後児童クラブ(学童保育室) 入室申請受付

問合せ こども支援課 ☎ (42) 8454

令和8年度に放課後児童クラブへの入室を希望する人の入室申請受付を行います。

受付場所…こども支援課(ウェルス幸手内)

受付時間…月～金曜日8:30～17:15

(祝日および12/29～1/3を除く)

※4月入室希望については、各放課後児童クラブでも受付を行います。受付時間は各クラブにご確認ください。

※市に申請書が届くまで時間がかかるため余裕を持ってお手続きください。

詳細は入室案内をご覧ください。

入室案内および提出書類は

こども支援課窓口
および市ホームページからダウンロードできます。

HP



詳細はこちら!



放課後児童クラブ(学童保育室)とは

小学生児童(1～6年生)の保護者が仕事などにより昼間家庭にいない場合に、保護者に代わって放課後に児童保育を行う施設。

	入室希望月	受付期間
4月入室希望	一次受付 【通年利用のみ】	11月4日(火)～11月21日(金)
	二次受付 【通年利用】 【長期休業期間のみ利用】 ※二次受付の通年利用は一時受付後の欠員分のみ。	12月1日(月)～ 令和8年2月2日(月)
5月以降入室希望	入室希望月の前月受付 ※8月のみ6月受付。	入室希望月の前月の10日まで ・10日が祝日などの場合、直前の平日まで ・7月、8月からの利用についてのみ、6月10日(水)まで

10月20日は世界骨粗鬆症デー

問合せ 健康増進課 ☎(42) 8421

世界骨粗鬆症デーとは、1998年に国際骨粗鬆症財団（IOF・本部スイス）と世界保健機構（WHO）が共同により、骨粗しょう症と骨代謝障害の啓発を目的として制定された日です。

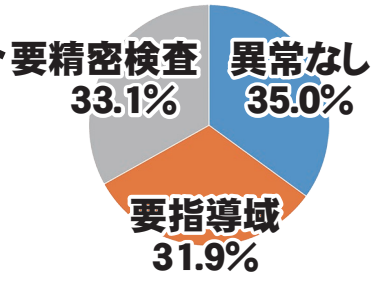
この機会にご自身の骨と健康について考えてみましょう。



骨粗しょう症とは
骨の強度が低下し、骨折しやすい状態のことです。年齢やホルモンバランスにより骨量が徐々に減少していくことで骨粗しょう症のリスクが上がります。

◎幸手の骨粗しょう症検診の結果

受診者の
約3人に1人
が要精密検査の結果に!



要精密検査と判定された場合は、医療機関で精密検査を受けて、骨折や寝たきりになることを予防しましょう!

(対象者: 令和6年度幸手市骨粗しょう症検診受診者)

骨粗しょう症を予防するには…

骨量を測定し、自分の骨密度を知ることが重要です。まずは下記のような検診を受けてみましょう!

■令和7年度幸手市骨粗しょう症検診

対象	令和7年4月1日時点で40、45、50、55歳の女性、60歳以上の女性、70歳以上の男性
内容	骨量測定 (DEXA法)
費用	300円

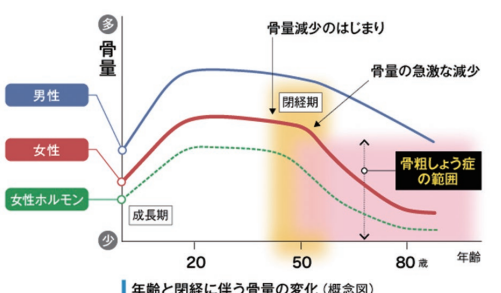


検診の予約はこちらから **詳細はこちら!**

◎若いうちからコツコツ(骨骨)骨貯金

カルシウムは体重の1~2%を占め、その99%は骨や歯に存在します。残りの1%は血液や組織液、細胞に含まれ、身体のさまざまな機能を調節する働きをしています。カルシウムが不足すると、骨折や骨粗しょう症を起こすリスクが高くなります。

骨の量は成長と共に増加し、20歳頃が最大量となります。そのあとは比較的安定しますが、歳をとるにつれて減っていきますので、20歳までに下記の食材を食べながら**骨貯金**をして、カルシウムを蓄えましょう。



カルシウムを多く含む食品

- 小魚**
 - さくらえび 大さじ1杯 69mg
 - ししゃも3尾 177mg
- 豆類**
 - 納豆1パック (50g) 90mg
 - 木綿豆腐1/2丁 140mg
 - 厚揚げ1/2枚 (75g) 180mg

牛乳・乳製品

- 牛乳コップ1杯 231mg
- ヨーグルト1カップ 126mg
- チーズ1個 126mg

野菜・海藻

- 小松菜 1/4 束 110mg
- 切干大根 (乾、15g) 75mg
- ひじき (乾、10g) 150mg

ビタミンDを多く含む食品

(カルシウムの吸収を助ける)

- 魚介類**
 - 鮭、ブリ、シラス干し
- きのこ類**
 - きくらげ、干しいたけ

ビタミンKを多く含む食品

(骨の形成を促す)

- 野菜類**
 - 小松菜、ほうれん草、モロヘイヤ
- その他**
 - 納豆、干しわかめ

骨粗しょう症イベント開催!

10月18日(土)に市民公開講座「世界骨粗鬆症デーin幸手2025」を開催します。医師と薬剤師による講話、骨密度測定などのイベントブースもご用意していますので、ぜひご参加ください! 詳細は、広報9月号16ページをご覧ください。

詳細はこちら!